

教育目標		「心豊かでたくましい子どもの育成」 ～いきいき・わくわく・そろって・のびよう・いわそのっ子～										総合評価	
学校経営の基本方針		①学習指導要領の確実な実施②「社会に開かれた教育課程」の実現に向けて③「働き方改革」を推進し、教員が子どもと向き合う時間の確保を図る④GIGAスクール構想による一人1台端末における授業改善をすすめる⑤新型コロナウイルス感染症に対する危機管理対応に取り組む										B	
学校運営の柱		◎確かな学力をつける(知) ◎豊かな心情を育てる(徳) ◎たくましい体力・気力を養う(体) ◎自他の人権を大切にする(人権)											
前年度の課題		・児童の積極的なあいさつ・働き方改革の推進・感染症を意識した廊下、階段歩行										B	
本年度の重点目標		・あいさつの奨励・読書の推進・わかる楽しい授業づくり・体力の向上											
評価項目	具体的目標(評価小項目)	評価番号	○具体的方策・●評価指標等	教員※	保護者※	児童※	評価		成果と課題(評価の分析)	課題の改善策等			
学校経営全般	組織力の強化	チーム力を生かした学校経営	1	○各分掌部における、共通理解に基づいた積極的な取組の推進 ●教ア 肯定的回答 A:85%以上 B:60~85%未満 C:60%未満	1			A	A	○「各分掌部における、共通理解に基づいた取組」については、昨年度から評価数値をUPしたが、同様の結果であった。一昨年度、組織の見直しを行い、指導部・研修部の枠を撤廃し、各分掌部としての取組であったが、概ねどの部も積極的に取り組めた。 ○教職員の勤務規律、教職員の資質向上に向けた項目では、年々、アップしている。教職員、一人一人の意識の向上が見られた。 ○一人1台端末の活用について、「B」評価ではあるが、概ねよく取り組んでいると思われる。今後、活用する教員、活用しない教員が分かれることがないよう気をつける必要がある。 ○昨年度からの新たな項目である「働き方改革の推進」については、評価指標を昨年度より高く設定した。評価としては、昨年度同様、「A」であった。肯定的回答は、87.5%。専科制度の導入等、個々の取組の推進とともに組織としての取組をすすめた年でもある。ただし、本年度は、コロナ禍における始業前の健康チェックや授業中の感染症対策、放課後における消毒作業における負担増があり、業務量がかなり増えた。その分、清掃活動の見直しや職員朝礼の廃止等、本来業務の見直しもすすめることでの対応であった。次年度以降、引き続き、行事や日頃の活動の精選をすすめていく必要がある。 ○子どもとのコミュニケーションについては、保護者、児童とも全体で見れば、肯定的な意見が多いが、保護者の意見として1割弱が適切でないという結果になっている。昨年度の2割弱からは、改善されているが、全ての児童に対して適切な対応ができていないという点を常に考えておく必要がある。 ○保幼小中との交流については、本年度もコロナ禍でもあり、厳しい面があった。次年度の課題としたい。	学年グループ、学校チームとしての意識や連携をより高めていけるように努めている。また、効率よくすすめられるようにしていくことで働き方改革にもつなげたい。 ○引き続き、勤務規律や時間厳守等について、一人一人が自覚し、校務をすすめている。また、各個人の休憩時間を設定することで勤務時間の意識を高めてことに努める。 ○「自ら学ぶ」、子どもとともに「楽しく学ぶ」教職員として、日々OJTを充実させ、指導力の向上に努めている。 ○若手教員を含め、全ての教員が意欲を持ち、互いに支援・助言しあってともに学んでいく姿勢を持ち、協働・連携を図りながら学校全体の教育力の向上をに努める。 ○子どもに寄り添ったよりきめ細かな指導・支援に努めることで、全ての子どもが安心して学べる学校づくりをめざす。 ○本年度も、コロナ禍のため、地域の協力を得て、その人材活用や、連携した取組をすすめることができなかった。次年度、感染状況をみながら、できることからすすめていきたい。 ○幼稚園との交流は、コロナ禍のため、すすめることができなかった。小学校・中学校との職員間の交流・連携を図っていく必要がある。 ○今までの評価項目に事務室運営の項目がなかったため、次年度、評価項目に加える必要がある。		
	教員の資質向上	職務意識の向上	2	○勤務規律と時間厳守の徹底 ●教ア 肯定的回答 A:90%以上 B:70~90%未満 C:70%未満	2			A	A	○「各分掌部における、共通理解に基づいた取組」については、昨年度から評価数値をUPしたが、同様の結果であった。一昨年度、組織の見直しを行い、指導部・研修部の枠を撤廃し、各分掌部としての取組であったが、概ねどの部も積極的に取り組めた。 ○教職員の勤務規律、教職員の資質向上に向けた項目では、年々、アップしている。教職員、一人一人の意識の向上が見られた。 ○一人1台端末の活用について、「B」評価ではあるが、概ねよく取り組んでいると思われる。今後、活用する教員、活用しない教員が分かれることがないよう気をつける必要がある。 ○昨年度からの新たな項目である「働き方改革の推進」については、評価指標を昨年度より高く設定した。評価としては、昨年度同様、「A」であった。肯定的回答は、87.5%。専科制度の導入等、個々の取組の推進とともに組織としての取組をすすめた年でもある。ただし、本年度は、コロナ禍における始業前の健康チェックや授業中の感染症対策、放課後における消毒作業における負担増があり、業務量がかなり増えた。その分、清掃活動の見直しや職員朝礼の廃止等、本来業務の見直しもすすめることでの対応であった。次年度以降、引き続き、行事や日頃の活動の精選をすすめていく必要がある。 ○子どもとのコミュニケーションについては、保護者、児童とも全体で見れば、肯定的な意見が多いが、保護者の意見として1割弱が適切でないという結果になっている。昨年度の2割弱からは、改善されているが、全ての児童に対して適切な対応ができていないという点を常に考えておく必要がある。 ○保幼小中との交流については、本年度もコロナ禍でもあり、厳しい面があった。次年度の課題としたい。			
		一人1台端末の活用	3	○一人1台端末を活用した取組を積極的にすすめる ●教ア 肯定的回答 A:80%以上 B:60~80%未満 C:60%未満	5	4	B						
		働き方改革	4	○校内における働き方改革を推進する ●教ア 肯定的回答 A:80%以上 B:60~80%未満 C:60%未満	6		A						
		教員の資質向上	5	○子どもと円滑なコミュニケーションを図る ●児ア・保ア 肯定的回答 各A:80%以上 B:60~80%未満 C:60%未満		3	2	A					
	地域連携	保幼小中連携	6	○コロナ禍においても保幼小中との教職員間の交流の実施 ●各校園所との交流 A:2回以上 B:1回 C:実施せず				C	C				
校内研究部	基礎学力の向上	授業力の向上	7	○児童にとってわかりやすい授業づくり ●児ア 保ア 肯定的回答 各A:85%以上 B:65~85%未満 C:65%未満		4	3	A	A	新型コロナウイルス感染症対策をしながら、年度初めに計画を立てた通りに、研修を行うことができた。 スキルタイム等を活用しながら、研究主題に沿って話す聞く力を付けようと尽力できた。 家庭学習の啓発では、年度初めに「家庭学習の手引き」を配布したり、学年だよりで伝えたりすることができた。 課題としては、「家庭学習の手引き」の配布だけに終わってしまっていることがあったので、定期的に家庭に啓発する必要がある。また、宿題を提出できない児童も見受けられたので、継続して家庭学習の啓発を行っていく。	家庭との連携を密にし、学校での学習の進度を学年だよりなどで知らせたり、家庭学習や自主的な学習の啓発などを今後も継続していく。また、2学期の懇談会で も家庭学習の啓発を行う。 スキルタイムの時間を増やし、基礎学力の向上を図っていく。		
		校内研究及び公開授業の充実	8	○国語科を中心とした授業研究の充実 ●研究及び公開授業の実施回数 肯定的回答 A:5回以上 B:4回 C:3回以下				A					
			9	○国語科を中心とした研修の充実 ●ブロック別研修を含む研修の実施回数 A:8回以上 B:6~7回 C:5回以下				A					
		学習習慣の確立	10	○基礎学力をつくるための取組 ●教ア 肯定的回答 各A:85%以上 B:65~85%未満 C:65%未満	4			A					
			11	○家庭学習の啓発 ●教ア・保ア 肯定的回答 各A:85%以上 B:65~85%未満 C:65%未満	3	5		A					
人権教育部	人権意識の向上	自他を大切にする集団づくり	12	○教職員と保護者が連携を取りながら個々の人権意識を高める努力をしている。 ●教ア 肯定的回答 A:80%以上 B:60~80%未満 C:60%未満	7			A	A	人権教育の絵本の読み聞かせ「みえるとかみえないとか」を保護者向けにYoutubeで配信したが、初めての試みであったため制作に時間がかかり、配信時期が夏期休業中になってしまった。次年度も感染症防止対策が必要な場合は、配信時期を早め、児童を通じて保護者が一緒に視聴できるようにしたい。道徳科の学習内容や取り組んだことをまとめ、保護者への啓発として学年だよりにより毎月掲載するなどの取組を進めたい。 自尊感情を高める手立てとして、「わかる授業づくり」「認め合える学級づくり」を大切にしたい取組を今後も進めていく。 人教部として、先生方が自信をもって子どもたちに人権教育を進められるような研修の場を提供することを今後も続けていく。 一人一人の課題の把握や、個に応じた支援や配慮について、学校全体で児童に関する小さなことでも相談しやすい体制づくりを進めていきたい。 磐園小学校全体として、誰もが認められ、安心して過ごせる学級づくりを目指した取り組みが進められているので、今後も継続して取り組んでいきたい。 肯定的回答は高いけれども、児童が本当に安心して過ごすことができているかを常に意識し、自分の学級だけでなく、同じ学年の教師同士で確認をすることも必要である。			
		13	○「自分と同じように相手のことを大切にしている」 ●児ア 肯定的回答 A:90%以上 B:70~90%未満 C:70%未満			6	A						
		人権教育に関する研修の充実	14	○人権教育の課題について個々に研鑽する ●教ア 肯定的回答 A:80%以上 B:60~80%未満 C:60%未満	10			B					
	特別支援体制の充実	個に応じた支援	15	○ひとりひとりの課題を把握し、個に応じた支援や合理的配慮に努める ●教ア 肯定的回答 A:80%以上 B:60~80%未満 C:60%未満	14			B	B				
特別支援教育		16	○誰もが認められ、安心して過ごせる学級環境づくりに努めている。(UDL) ●教ア 肯定的回答 A:80%以上 B:60~80%未満 C:60%未満	9			A						

生徒指導部	基本的生活習慣の充実	あいさつの励行	17	○気持ちのよいあいさつをする子どもの育成 ●児ア・教ア・保ア 肯定的回答 各A:80%以上 B:60~80%未満 C:60%未満	11	2	7	B	B	○昨年度の課題であった。挨拶の励行については、教員、児童のアンケートの数値が向上した。その結果、全体としてB評価となり、挨拶に対する意識の変化があったと考えられる。しかし、保護者のアンケートの結果は、あまり変わっていない。これらのことから、教員や児童の意識は変わったが、誰に対しても挨拶をするというところまでは、達成できていないと考えられる。 ○廊下・階段歩行については、教員・児童の両アンケートで低い数値となっていた。意識から改善することが必要である。 ○掃除については、時間は短いものの、しっかりと取り組むことができていた。	○挨拶については、自ら挨拶をすることを意識できるように、声掛けを行ったり、挨拶について考える時間を各学級で設けたり、生活委員会の活動を工夫したりすることで、自ら挨拶できるようになることを目指す。 ○廊下・階段歩行については、全教職員が、その場その場で指導することが必要である。また、児童に廊下・階段歩行の必要性を考えさせ、安全に過ごすためにはどうすべきかを話し合わせる必要がある。これらのことをすることで、廊下・階段歩行に対する意識を高めて、正しい歩行が行えるように目指す。	
		廊下・階段歩行	18	○感染症対策も意識した廊下・階段歩行 ●児ア・教ア 肯定的回答 各A:90%以上 B:70~90%未満 C:70%未満	12		8	C				
		掃除への取組	19	○時間いっぱい掃除することや、掃除の後始末の点検 ●教ア・児ア 肯定的回答 各A:80%以上 B:60~80%未満 C:60%未満	13		9	A				
	教育相談体制の充実	支援を必要とする児童への対応	20	○児童支援委員会で共通理解及び適切な対応に努める ●教ア 肯定的回答 A:80%以上 B:60~80%未満 C:60%未満	14				A	A	○支援を必要とする児童への対応についても、いじめ対応についてもアンケートの結果は、どの項目においても設定していた数値よりも高い数値を示した。しかし、いじめを許さない、見逃さない学級づくりについては、肯定的回答が90%以上は達成していたが、数名否定的回答があった。	○いじめを許さない、見逃さない学級の肯定的回答が100%になるよう、注意深く、児童の様子を見ながらみんなが安心して過ごせる学校を目指す。
			21	○関係機関や保護者との連携を密にする ●教ア 肯定的回答 各A:80%以上 B:60~80%未満 C:60%未満	15				A			
		いじめ対応	22	○アンケート等の実施による未然防止・早期発見 ●教ア 肯定的回答 A:80%以上 B:60~80%未満 C:60%未満	16				A			
			23	○いじめを許さない、見逃さない学級づくり ●児ア 肯定的回答 A:90%以上 B:70~90%未満 C:70%未満			10		A			
文化部	特別活動の充実	学級活動の充実	24	○学級活動時間の確保 ●時間数 A:36時間以上 B:30~35時間 C:29時間以下					A	A	○コロナ禍において学校行事が削減され代表委員会も開催されなかったため、話し合いの機会が少なかったが、70%弱の学級が週1回以上の学級活動の時間を確保できていた。 ○児童は学校・学級の一員として、係や当番など役割を果たしているという実感をもっている。 ○児童は読みたい本を選び楽しんで読書することができた。今年度も、学級の図書時間の貸し出しは一人二冊まで借りられるようにした。学級ごとに休み時間の図書室開放の時間も設定したが、情勢に合わせて中止となり、学級ごとの配当の時間だけとなった。 ○昨年度より始めた家読では、多くの家庭が好意的に取り組みに参加していただき、家庭での読書や、児童の読書の様子を見てもらえる良い機会となった。 ○学級文庫を新しく追加購入したり、年間を通して市立図書館の団体貸し出しを利用し読書環境を改善することによって、学習や読書活動に積極的に活用できた。 ○約95%の児童が、音楽会を楽しみにし、積極的に練習に取り組んだ。 ○校内作品展では、掲示板を有効に利用し全校に広く発信した。児童は興味をもって鑑賞し、お互いの作品を楽しんだ。 ○学年で絵画や書写の掲示を年間7回以上の張替えを行い学年掲示板を活用した。また、月ごとに季節感を感じられる掲示の工夫もあっていた。	○学級活動や児童会活動を活性化させるために、週一回以上の学級活動の時間の確保と、状況に応じた児童会活動の活動内容の再考が必要と考える。そこで、引き続き来年度も学級会の年間計画と各委員会活動の活動内容の提案をしていきたい。 ○80%以上児童は、読みたい本を選んで楽しみながら読んでいるという実感をもっている。読書の内容・質・量を充実させていきたい。 ○児童が多くの本に触れられるよう、ジャンルに偏りのないよう選書し手に取れる本を充実させる。市立図書館の団体貸出冊数にもう少し余裕があるので、年間を通して更に有効に利用し活用する。委員会でもおすすめの紹介などを定期的に行い、さらに親しみやすい環境を作る。教師による読み聞かせも進めていきたい。 ○読書貯金は、低学年を中心に金や銀のカードを励みに意欲的に取り組んだ。読書への意欲付けのしかけの一つとして記入内容を再考しながら引き続き行う。校内読書週間だけでなく家読の機会（時期は来年度に向け再考）も設け、家庭での読書を習慣付けるきっかけとする。 ○音楽会が開催可能であれば、視聴後、全校で感想を交換し合い、達成感や次への発表意欲につなげたい。
			25	○児童の学級活動への主体的な参加 ●児ア 肯定的回答 A:80%以上 B:60~80%未満 C:60%未満			11		A			
	学習意欲の向上	読書指導の充実	26	○読みたい本を選び、楽しんで読書する ●児ア・教ア・保ア 肯定的回答 各A:80%以上 B:60~80%未満 C:60%未満	16	6	12	B	A			
			27	○読書環境の充実 ●教ア 肯定的回答 A:80%以上 B:60~80%未満 C:60%未満	17					A		
	豊かな心情の育成	芸術的行事の充実	28	○児童の文化的行事への積極的な参加（校内音楽会） ●保ア・児ア 肯定的回答 各A:90%以上 B:70~90%未満 C:70%未満		7	13	A	A			
			29	○掲示物の充実 ●学年掲示板のほりかえ回数 各学年 A:7回以上 B:5回~6回 C:4回以下						A		
保健体育部	体力の向上	体育科授業の充実	30	○児童が主体的に参加でき、運動量が確保された授業の工夫 ●児ア・教ア 肯定的回答 各A:90%以上 B:60~90%未満 C:60%未満	18		14	A	B	体育の指導に当たる先生方がワークシートを用いたり、タブレット端末を活用したりして工夫した授業を行ってくださったため、児童も進んで運動に取り組むことができた。 感染予防に配慮した生活の習慣づけについては先生方が意識を高く持って指導してくださったおかげで、ほとんどの児童が習		
		体育的取組の充実	31	○一校一運動「なわとびピンゴ!」の積極的な参加 ●教ア・児ア 肯定的回答 各A:80%以上 B:60~80%未満 C:60%未満	20		15	C				
		感染予防に配慮した生活	32	○手洗い・消毒をこまめに行う、清潔なハンカチを毎日持ってくる、正しくマスクを着用する、常に間隔をあけるなどの習慣づけを行う ●児ア・教ア 肯定的回答 A:80%以上 B:60~80%未満 C:60%未満	21		16	A				
学校関係者評価												

《児童用アンケート》

2021令和3年度
大和高田市立警園小学校

A:そう思う B:どちらかといえば、そう思う C:あまり思わない D:思わない

単位は人

()は昨年度 %

質問	A	B	C	D	計	A	B	C	D
①学校は楽しい。	212	86	33	5	336	63.1 (58.7)	25.6 (29.9)	9.8 (7.2)	1.5 (4.3)
②先生は、悩みやトラブル等に、親切に対応してくれる。	242	79	11	4	336	72.0 (65.8)	23.5 (26.5)	3.3 (7.0)	1.2 (0.8)
③先生は、教え方をいろいろ工夫してくれる。	265	62	8	0	335	79.1 (73.7)	18.5 (22.6)	2.4 (3.2)	0.0 (0.5)
④先生は、クロムブックを使った学習をすすめていた。	200	102	26	7	335	59.7	30.4	7.8	2.1
⑤漢字や計算の力がついたと感じる。	199	104	25	8	336	59.2	31.0	7.4	2.4
⑥自分と同じように相手のことを大切にしている。	223	101	7	4	335	66.6 (64.1)	30.1 (31.9)	2.1 (3.5)	1.2 (0.5)
⑦毎日、あいさつができています。	151	111	60	12	334	45.2 (31.1)	33.2 (36.2)	18.0 (27.3)	3.6 (5.4)
⑧廊下・階段は右側を静かに歩いている。	104	137	86	7	334	31.1	41.0	25.7	2.1
⑨時間いっぱい掃除することや、用具の後片付けができています。	219	83	28	6	336	65.2 (53.2)	24.7 (35.0)	8.3 (8.6)	1.8 (3.2)
⑩いじめをしないで、友だちとなかよく過ごすことができた。	260	57	16	3	336	77.4 (75.0)	17.0 (19.9)	4.8 (4.0)	0.9 (1.1)
⑪生活をよりよくするために、学級会や係活動などにすすんで取り組んだ。	160	132	39	5	336	47.6	39.3	11.6	1.5
⑫読みたい本を選び、楽しんで読むことができた。	239	59	29	8	335	71.3 (63.9)	17.6 (20.6)	8.7 (11.2)	2.4 (4.2)
⑬音楽会に向けて、いっしょうけんめい取り組んだ。	232	85	14	3	334	69.5 (71.6)	25.4 (24.4)	4.2 (2.7)	0.9 (1.3)
⑭体育の授業で進んで運動に取り組み、学習をすすめることができた。	205	97	25	7	334	61.4	29.0	7.5	2.1
⑮なわとびビンゴ！に進んで参加し、いろいろな技に挑戦することができた。	96	41	100	99	336	28.6	12.2	29.8	29.5
⑯こまめに手洗いや消毒を行い、正しくマスクを着けることができた。	217	97	21	1	336	64.6 (63.5)	28.9 (29.3)	6.3 (6.4)	0.3 (0.8)
⑰友達と楽しく過ごせている。	282	38	12	3	335	84.2 (82.2)	11.3 (14.0)	3.6 (2.5)	0.9 (1.4)



《保護者用アンケート》

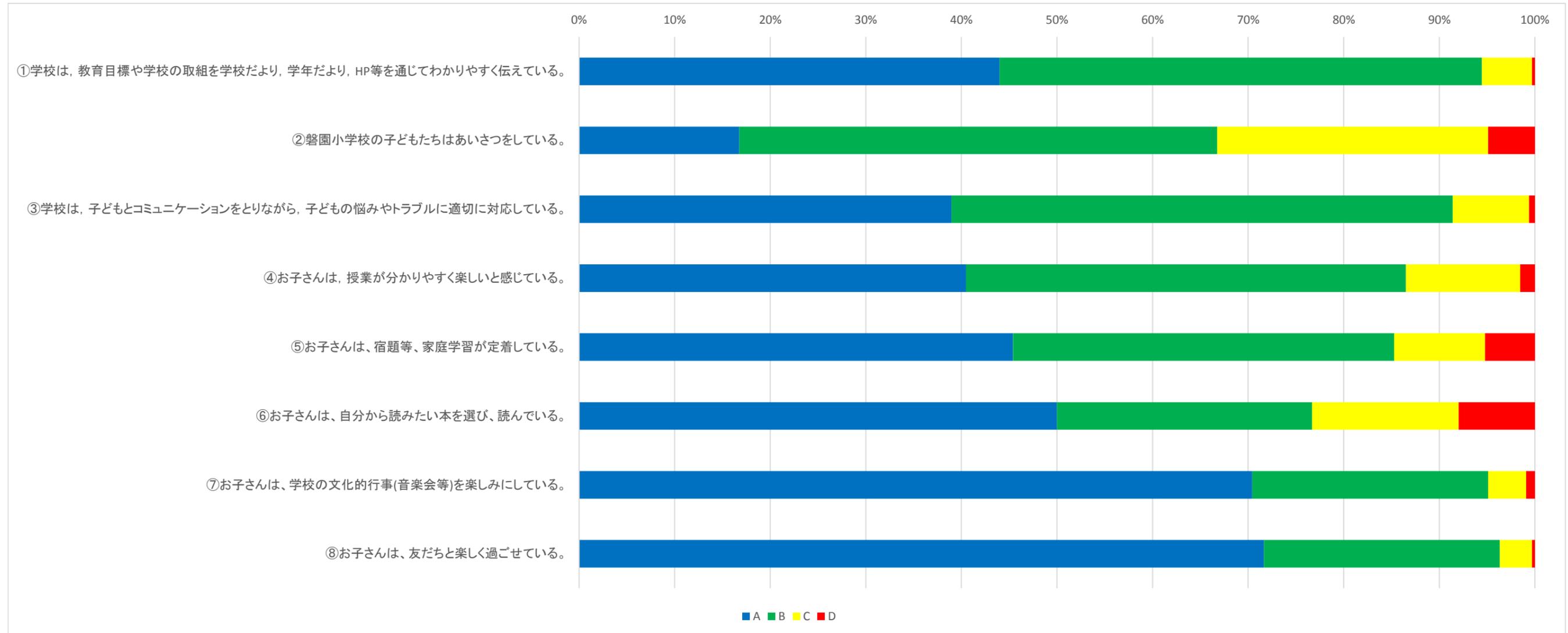
2021令和3年度
大和高田市立磐園小学校

A:そう思う B:どちらかと言えばそう思う C:あまり思わない D:思わない

単位は人

()は昨年度 %

	項目	A	B	C	D	計	A	B	C	D
1	①学校は、教育目標や学校の取組を学校だより、学年だより、HP等を通じてわかりやすく伝えている。	143	164	17	1	325	44.0 (39.7)	50.5 (50.7)	5.2 (9.4)	0.3 (0.3)
2	②磐園小学校の子どもたちはあいさつをしている。	55	164	93	16	328	16.8 (19.0)	50.0 (48.5)	28.4 (27.8)	4.9 (4.7)
3	③学校は、子どもとコミュニケーションをとりながら、子どもの悩みやトラブルに適切に対応している。	127	171	26	2	326	39.0 (30.7)	52.5 (50.6)	8.0 (15.5)	0.6 (3.3)
4	④お子さんは、授業が分かりやすく楽しいと感じている。	132	150	39	5	326	40.5 (35.5)	46.0 (44.9)	12.0 (15.4)	1.5 (4.1)
5	⑤お子さんは、宿題等、家庭学習が定着している。	148	130	31	17	326	45.4 (39.4)	39.9 (40.8)	9.5 (15.7)	5.2 (4.1)
6	⑥お子さんは、自分から読みたい本を選び、読んでいる。	163	87	50	26	326	50.0 (25.1)	26.7 (26.7)	15.3 (30.0)	8.0 (18.2)
7	⑦お子さんは、学校の文化的行事(音楽会等)を楽しみにしている。	231	81	13	3	328	70.4 (63.1)	24.7 (25.9)	4.0 (9.9)	0.9 (1.1)
8	⑧お子さんは、友だちと楽しく過ごせている。	235	81	11	1	328	71.6 (67.5)	24.7 (28.7)	3.4 (3.3)	0.3 (0.6)



《教員用アンケート》

2021令和3年度
大和高田市立磐園小学校

A:そう思う B:どちらかといえば、そう思う C:あまり思わない D:思わない

単位は人

()は昨年度 %

項目	A	B	C	D	計	A	B	C	D
1 ①各部署、共通理解に基づいた積極的な研修や取組をすすめている。【全体】	13	11	0	0	24	54.2 (39.1)	45.8 (47.8)	0.0 (13.0)	0.0 (0.0)
2 ②教育公務員としての服務規律を遵守し、校務において時間厳守が徹底できている。【個人】	16	8	0	0	24	66.7 (65.2)	33.3 (30.4)	0.0 (4.3)	0.0 (0.0)
3 ③学習の手引きを配布したり、学年だよりで学習状況を知らせたりしている。【担任】	13	6	0	0	19	68.4	31.6	0.0	0.0
4 ④児童にとってわかりやすい授業につとめた。【個人】	15	9	0	0	24	62.5	37.5	0.0	0.0
5 ⑤一人1台端末を活用した取組を積極的にすすめた。【個人】	7	11	5	0	23	30.4	47.8	21.7	0.0
6 ⑥学校全体として働き方改革を意識し、在校時間短縮などの取組をすすめている。【全体】	7	14	2	1	24	29.2 (39.1)	58.3 (39.1)	8.3 (21.7)	4.2 (0.0)
7 ⑦教職員が保護者と連携を取りながら、人権意識を高める取組をすすめている。【全体】	8	14	2	0	24	33.3	58.3	8.3	0.0
8 ⑧学校全体で個に応じた合理的配慮に努めている。【全体】	8	16	0	0	24	33.3 (34.8)	66.7 (56.5)	0.0 (8.7)	0.0 (0.0)
9 ⑨誰もが認められ、安心して過ごせる学級環境づくりに努めている。【担任】	14	6	0	0	20	70.0 (50.0)	30.0 (44.4)	0.0 (5.6)	0.0 (0.0)
10 ⑩人権教育の課題について個々に研鑽に努めた。【個人】	10	14	0	0	24	41.7	58.3	0.0	0.0
11 ⑪児童は、あいさつが身についている。【全体】	1	20	3	0	24	4.2 (0.0)	83.3 (26.1)	12.5 (69.6)	0.0 (4.3)
12 ⑫児童は、廊下や階段の右側を静かに歩くことができている。【全体】	1	15	8	0	24	4.2 (4.3)	62.5 (39.1)	33.3 (52.2)	0.0 (4.3)
13 ⑬時間いっぱい掃除をすることや、用具の後片付けができている。【全体】	9	13	2	0	24	37.5 (17.4)	54.2 (73.9)	8.3 (8.7)	0.0 (0.0)
14 ⑭児童支援委員会で学年間や部会等で配慮や支援を要する児童の共通理解を図り、適切な対応に努めている。【全体】	11	10	3	0	24	45.8 (39.1)	41.7 (60.9)	12.5 (0.0)	0.0 (0.0)
15 ⑮支援を必要とする児童に対して関係機関や保護者との連携を密にすすめた。【全体】	9	13	2	0	24	37.5 (39.1)	54.2 (60.9)	8.3 (0.0)	0.0 (0.0)
16 ⑯いじめを絶対許さない、見逃さない集団づくりに取り組んでいる。【全体】	21	3	0	0	24	87.5 (56.5)	12.5 (39.1)	0.0 (4.3)	0.0 (0.0)
17 ⑰児童は、自分が読みたい本を選び、楽しんで読書をしている。【担任】	10	10	1	0	21	47.6 (30.0)	47.6 (65.0)	4.8 (4.3)	0.0 (0.0)
18 ⑱読書好きな児童の育成に向け、読書環境を整えている。【全体】	8	16	0	0	24	33.3 (34.8)	66.7 (65.2)	0.0 (0.0)	0.0 (0.0)
19 ⑲感染症対策を実施しながら、運動量を確保し、楽しく主体的に取り組める体育学習を工夫している。【担任】	10	10	0	0	20	50.0 (52.9)	50.0 (41.2)	0.0 (5.9)	0.0 (0.0)
20 ⑳児童が一校一運動(なわとびピンゴ!)に積極的に参加できるように努めた。【担任】	4	10	3	1	18	22.2	55.6	16.7	5.6
21 ㉑手洗い・消毒をこまめに行う、清潔なハンカチを毎日持つてくる、正しくマスクを着用する。常に間隔をあけるなどの習慣づけに取り組...	15	9	0	0	24	62.5	37.5	0.0	0.0

